



## 平成29年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社 ティア  
 コード番号 2485 URL <http://www.tear.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 (氏名) 富安 徳久  
 (氏名) 辻 耕平  
 TEL 052-918-8254

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成29年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	8,705		1,159		1,148		761	
28年9月期第3四半期								

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 761百万円 ( %) 28年9月期第3四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	37.78	
28年9月期第3四半期		

(注) 平成29年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	11,194	6,181	55.2
28年9月期			

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 6,181百万円 28年9月期 百万円

(注) 平成29年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		3.00		3.00	6.00
29年9月期		4.00			
29年9月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,420		1,180		1,155		770		38.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成29年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期3Q	20,167,200 株	28年9月期	20,167,200 株
期末自己株式数	29年9月期3Q	1,470 株	28年9月期	1,470 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期3Q	20,165,730 株	28年9月期3Q	20,165,730 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第3四半期連結会計期間において、湯灌サービス及びメイク納棺の業務を行う株式会社愛共（有限会社から株式会社へ商号変更）の全株式を取得して子会社化いたしました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間より連結決算へ移行いたします。なお、前年度連結会計期間については四半期連結財務諸表及び連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期及び前期末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移したのに加え、輸出や設備投資の増加等により、緩やかな拡大基調となりました。また、政府の大規模な経済対策に伴う国内需要の増加等により、今後も回復傾向は持続するものと見られておりますが、米国経済政策と国際市場に及ぼす影響や新興国・資源国経済の動向等、先行きに対する不透明感は拭えない状況です。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、葬儀単価におきましては、核家族化や葬祭規模の縮小等により減少傾向が続いております。また、直近の業界環境といたしましても、前年同期と比較し葬儀件数は増加する一方、葬儀単価は低下しております。

かかる環境下、当社は顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、中長期目標200店舗体制の実現を目指すべく「オンリーワンブランド“ティア”」のスローガンのもと、ローリング方式により中期経営計画を策定し、4項目のテーマを設け7つの戦略を推進してまいりました。新規出店の状況につきましては、直営は愛知県下に「ティア稲沢」「ティア如意申」の2店舗を開設し、フランチャイズは岐阜県下に「ティア大垣東」、大阪府下に「葬儀相談サロンティア泉ヶ丘」の2店舗を開設し、これにより直営49店舗、フランチャイズ41店舗の合計90店舗となりました。既存会館におきましては、葬儀ニーズの多様化への対応及び本社機能を拡張するために「ティア黒川」の改修工事を実施いたしました。売上原価におきましては、フランチャイズ向け物品販売が減少したのに加え、取扱商品の見直しや葬儀付帯業務の内製化を推進いたしました。経費面では中長期の出店を見据えた人材の確保や積極的な販売促進の実施に加え、「ティア黒川」改修工事に伴う修繕費等が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は87億5百万円となり、営業利益は11億59百万円、経常利益では11億48百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億61百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (a) 葬祭事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等を積極的に取り組んでまいりました。また、提携企業で特典や割引が受けられる等の会員向け優待サービス「ティアプラス」の充実にも努めてまいりました。葬儀件数におきましては、既存店が堅調に推移したのに加え、新たに開設した会館の稼働により、葬儀件数は前年同期比9.9%増加の7,033件と順調に増加いたしました。葬儀単価におきましては、付加価値を高めた商品提案により供花や料理の単価が上昇したものの、祭壇単価が低下したことにより、前年同期比0.8%減となりました。この結果、売上高は84億59百万円、営業利益は17億34百万円となりました。

#### (b) フランチャイズ事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、フランチャイズの会館が前年同期と比べ3店舗増加し、これによりロイヤリティ収入が順調に増加したものの、前年同期に計上した会館開設に伴う物品売上が減少いたしました。また、紙面広告やウェブ広告を活用した新規クライアントの開発も積極的に実施し、この結果、売上高は2億46百万円、営業利益は61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は25億77百万円となり、主な内訳は、現金及び預金20億44百万円、売掛金2億46百万円であります。固定資産は86億17百万円となり、主な内訳は、有形固定資産71億89百万円、投資その他の資産12億65百万円であります。

この結果、総資産は、111億94百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は22億66百万円となり、主な内訳は、1年内返済予定の長期借入金8億51百万円、買掛金3億19百万円であります。固定負債は27億45百万円となり、主な内訳は、長期借入金20億77百万円であります。

この結果、負債合計は、50億12百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は61億81百万円となり、主な内訳は、利益剰余金42億29百万円、資本金11億59百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結会計期間において株式会社愛共を子会社化したことに伴い、本日(平成29年8月7日)付けで、通期連結業績予想を公表いたしました。

当第3四半期連結累計期間の利益におきまして、通期連結業績予想に対する達成率が営業利益で98.2%、経常利益では99.5%となっておりますが、当第4四半期に既存会館の改修を2店舗実施する計画であることから、平成28年11月7日公表いたしました個別業績予想を据え置き、子会社化による効果を見込み通期連結業績予想を算定しております。

なお、平成28年11月7日に公表いたしました「配当予想」に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、当第3四半期連結会計期間において株式会社愛共(有限会社から株式会社へ商号変更)の株式を取得し子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間から同社を連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	2,044
売掛金	246
商品	42
その他	250
貸倒引当金	△6
流動資産合計	2,577
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	5,075
土地	1,428
その他（純額）	685
有形固定資産合計	7,189
無形固定資産	162
投資その他の資産	
差入保証金	976
その他	288
投資その他の資産合計	1,265
固定資産合計	8,617
資産合計	11,194
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	319
短期借入金	150
1年内返済予定の長期借入金	851
未払法人税等	206
賞与引当金	65
その他	674
流動負債合計	2,266
固定負債	
長期借入金	2,077
資産除去債務	330
その他	337
固定負債合計	2,745
負債合計	5,012
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	1,159
資本剰余金	793
利益剰余金	4,229
自己株式	△0
株主資本合計	6,181
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益累計額合計	0
純資産合計	6,181
負債純資産合計	11,194

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,705
売上原価	5,293
売上総利益	3,412
販売費及び一般管理費	2,253
営業利益	1,159
営業外収益	
受取利息	4
広告料収入	9
その他	11
営業外収益合計	24
営業外費用	
支払利息	33
その他	1
営業外費用合計	35
経常利益	1,148
特別損失	
固定資産除売却損	29
特別損失合計	29
税金等調整前四半期純利益	1,119
法人税、住民税及び事業税	342
法人税等調整額	15
法人税等合計	357
四半期純利益	761
親会社株主に帰属する四半期純利益	761

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	761
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	761
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	761
非支配株主に係る四半期包括利益	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,459	246	8,705	—	8,705
計	8,459	246	8,705	—	8,705
セグメント利益	1,734	61	1,795	△636	1,159

(注)1. セグメント利益の調整額△636百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。